

## 第1節 環境教育および啓発事業の推進

### 1. 環境学習センターの取り組み

四日市市環境学習センターは、平成8年8月1日、子どもから大人までを対象に、日常生活と環境の関わりについての関心と理解を深め、環境に配慮した行動がとれる市民の育成を目的に開館した。市民が自主的に、楽しく環境の学習ができる拠点施設となることを目指して、平成18年度は次のような事業を行った。

#### 1. 普及啓発事業

##### (1) かんきょう探検

身近な自然に対する関心を深め、環境保全意識が高まることを目的に、小・中学生とその保護者を対象として2回実施した。

実施日	場 所
7 / 15 (土)	川を探検しよう 朝明川・三滝川・内部川
12 / 2 (土)	藤原町 鍾乳洞の生き物たち

##### (2) 動く自然教室

身近な自然に対する関心を深め、環境保全意識が高まることを目的に、市民を対象にして2回実施した。

実施日	場 所
6 / 3 (土)	田光群落、御池沼沢、保々地区ホタル
11 / 4 (土)	南部丘陵公園、少年自然の家

##### (3) 四日市の身近な自然調べ

身近な生き物に目を向けることにより、自然とのふれ合いを楽しむとともに、自然への関心を深めてもらうため「探す・採る・調べる」などの自然体験ができる「四日市の身近な自然調べ」を5月から2月に月1回実施した。

##### (4) よんかんセミナー

小学校高学年から一般市民を対象に大気汚染や水質汚濁等をテーマにして講義と実験・観察を組み合わせたセミナーを4回実施した。

### (5) 夏休み自由研究相談室

小・中学生を対象に、「夏休み自由研究の仕方相談室」(7月22日(土))、「夏休み自由研究のまとめ方相談室」(8月19日(土))を、植物、昆虫、地学、ゴミ・リサイクルなどの分野ごとに、四日市自然保護推進委員会委員の協力を得て実施した。

### (6) 子ども地球環境塾

小学校高学年を対象に、環境問題のグローバルな考え方や取り組みについての理解を深めてもらうことを目的に、国際環境技術移転研究センターにおいて、海外研修生と共に環境学習を2回実施した。

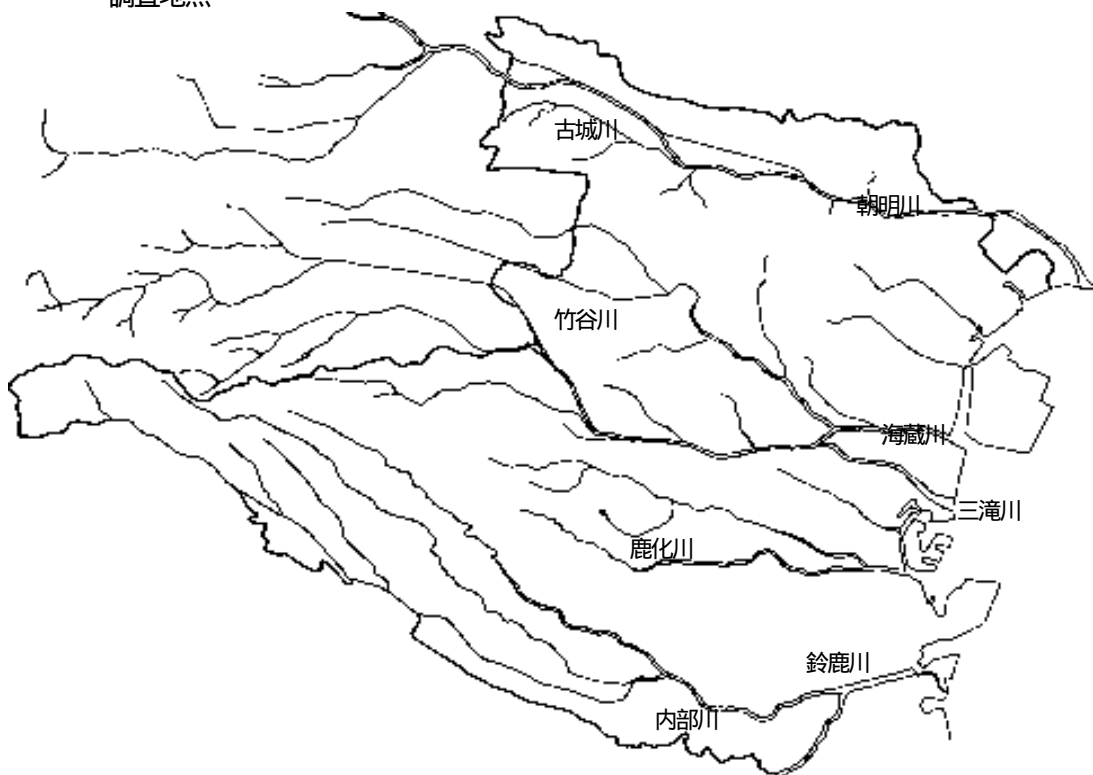
### (7) エコ工作体験教室

開催日	内 容
6 / 24 (土)	布ぞうり作り
10 / 21 (土)	貝殻アート工作
12 / 16 (土)	しめ縄作り
1 / 27 (土)	荷造りバンド工作

### (8) 水生生物調査

水生生物を調べることによって河川の水質判定を行うとともに、自然環境保護活動の普及・啓発をはかるため、水生生物調査指導員の協力を得て、三滝川、内部川、海蔵川、朝明川等において水生生物調査を実施した。

水生生物調査結果  
・調査地点





## 2. 人材育成事業

地域における市民の自主的な環境学習、環境保全活動のリーダーとして活躍できる人材の発掘と育成を目的として「環境リーダー養成講座」基礎編・応用編、および市内の小中高校教員を対象とした教員編を開催した。

また、今までの講座修了生を対象とした、フォローアップ研修会を2回開催した。

### 環境リーダー養成講座（基礎編）

実施日	内 容
7 / 8 (土)	四日市公害について（講義） 環境教育一般（講義） ごみ・リサイクルについて（講義）
7 / 15 (土)	経済活動、社会システムと環境について 「企業における資源再循環の取り組みについて」（講義） 省資源・省エネについてグループ討議
7 / 29 (土)	四日市のゴミ処理施設 「北部清掃工場」の見学 廃棄物最終処分場と風力発電施設 「新舞子最終処分場・風力発電」の見学

### 環境リーダー養成講座（応用編）

実施日	内 容
8 / 26 (土)	地球環境問題について 「原因別の対策について」（講義） 地球環境問題グループ討議 「解決策や対策についての討論と発表」
9 / 2 (土)	化学物質と環境について 「化学物質がもたらす環境問題」（講義） 自然環境の保全とふれあい 「自然体験型の環境学習の方法やプログラムについて」（講義）
9 / 9 (土)	環境活動団体の活動状況（紹介）2団体 環境教育のプログラムについて 「プログラムの仕組みや目的」について（講義）
9 / 16 (土)	伝えるための技術インタープリテーション 「環境教育のリーダーとしてのノウハウ」（講義） プログラムの作成・リスクマネジメント・グループ討議 発表とふりかえり

環境リーダー養成講座（教員編）  
（自然環境）

実施日	内 容
7 / 26（水）	自然から見た四日市の川物語（講義）
7 / 27（木）	四日市の河川探訪（野外実習） 上流・中流・河口の動植物

（生活環境）

実施日	内 容
8 / 2（水）	千年持続学（講義）
8 / 3（木）	四日市公害の原点を訪ねる（野外実習） 磯津・塩浜小・企業の環境対策施設の見学

環境リーダーフォローアップ研修会

実施日	内 容
11 / 11（土）	「木曽三川公園自然発見館他」視察
2 / 23（金）	「豊田市自然観察の森」視察 「愛知地球博記念公園」視察

### 3. 交流・活動支援事業

#### （1）こどもエコクラブ支援事業

市内の69クラブの1379人が登録した。また、交流会も兼ねて9月30日に「こどもエコまつり」を開催した。

### 4. 情報提供事業

#### （1）環境情報誌『エコステーション第11号』の発行

環境リーダー養成講座受講修了生の有志による編集委員会によって企画、編集された環境情報誌を発行した。

#### （2）『よんかんニュース』の発行

毎月発行し、環境教育の実践の紹介や環境保全課、環境学習センターのPRに努めた。

### 5. その他

#### 「総合的な学習の時間」等に対する支援事業

小・中学校・大学や地区からの要請を受けて、環境に関する体験学習や特別授業を行った。

## 2. 環境保全課の取り組み

### 1. 環境月間行事

#### (1) 「四日市のかんきょう」の作成

四日市の公害の歴史や現状について正しく知り、考えるための手引書として、平成13年度までA4版16ページの小冊子を作成していたが、ホームページに掲載している。

#### (2) 「広報よっかいち」への特集ページの掲載

「広報よっかいち」6月上旬号に、「地球温暖化防止の特集」を掲載し、温室効果ガスを少なくする暮らしへの転換を周知した。また、太陽光発電システム設置費補助についてやパークアンドバスライド等の周知を行なった。